

シリーズ



現場最前線からの便り

国有林の現場の最前線となる森林事務所・治山事業所等の仕事や、管轄する地域の特色などを紹介します。

【南信森林管理署】

下諏訪森林事務所 しもすわ

首席森林官 谷口 直幸 たにぐち なおゆき

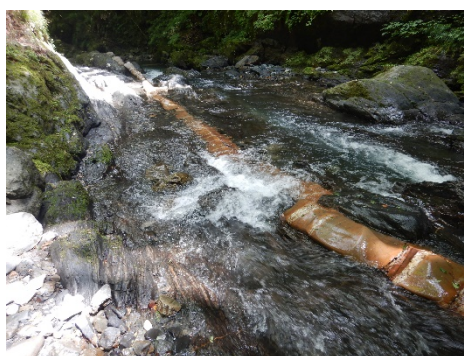
下諏訪森林事務所は、長野県の中

央部に位置する諏訪郡下諏訪町に所在し、日本最大の断層湖として知られる諏訪湖の北岸に広がる東侯国有林一、六六八ヘクト、上伊那郡辰野町の横川溪谷周辺の横川国有林三、五九六ヘクタを管轄しています。

東侯国有林は、カラマツを中心とした人工林・天然林が混在しています。標高が高く積雪量も多いため、林内の保水機能が高く、諏訪湖へ注ぐ河川の水源涵養林として重要な役割を担っています。また、近年はニホンジカによる食害の対策が重要な課題となっており、防護柵の設置や個体数管理など、関係機関と連携した対策にも取り組んでいます。

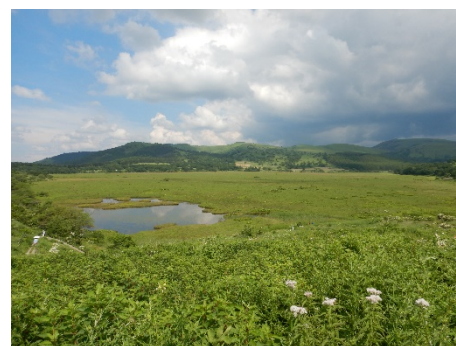
一方、横川国有林は、カラマツやアカマツを主体とした人工林と天然林が調和した森林景観が特徴です。横川溪谷内には、長い年月をかけて形

成された巨岩「蛇石」や四季折々の美しい自然景観に恵まれ、ハイキングや自然観察の場として親しまれています。



国の天然記念物「横川の蛇石」
川底に横たわる蛇のように見える

また、諏訪地域は長野県を代表する観光地としても知られています。日本有数の湖である諏訪湖では湖上花火大会や遊覧船が人気を集め、周辺には有名な諏訪大社四社があります。下諏訪町には中山道と甲州街道が交わる宿場町として栄えた歴史が残り、温泉街や歴史的な街並みを目的に多くの観光客が訪れます。さら



国の天然記念物「八島ヶ原湿原」
日本を代表する高層湿原の一つ

に、霧ヶ峰高原や八島ヶ原湿原では高山植物や雄大な眺望を楽しむことができ、四季を通じて登山者や自然愛好家で賑わいます。こうした観光資源を支えているのは、周辺に広がる豊かな森林の存在です。

当森林事務所では、これらの森林を適切に管理するため、造林や間伐などの森林整備事業の監督、林道施設の点検、保安林機能の維持管理、各種調査業務などを行っています。現場では事業の進捗確認や安全指導を行いながら、森林の公益的機能が長期にわたり発揮されるよう取り組んでいます。

また、七年に一度開催される諏訪大社御柱祭の開催が令和十年に迫っており、管内の国有林は御用材を産

出する森林としても知られています。御柱祭は、モミの太木を山から曳き出し、諏訪大社上社・下社四宮の四隅に建てる千年以上の歴史を持つ伝統行事であり、その開催に向け、支障が無いよう関係機関、団体と連絡を密に事業を進めています。

【未来の担い手へのメッセージ】

森林官の仕事は、森林や自然環境に関心がある方はもちろん、地域づくりや防災、環境保全に携わりたい方にも魅力のある仕事です。自然相手の仕事なので、予定調和で物事が進まないことが多いですし、専門知識が必要な場面もありますが、国有林を守り育てる仕事に興味を持たれた方は、ぜひ森林官という仕事に挑戦してみてください。未来の森林を支える仲間をお待ちしています。



御神木春宮一之柱と筆者